

# 養育者の Mind-mindedness と Still-Face 時の乳児の反応の関連 — 個人間情動調整の様相と乳児による養育者への期待 — (中間報告)

東京大学大学院教育学研究科 小山 悠 里

## The examination of a relationship between parental mind-mindedness and infants' responses during Still-Face paradigm: Patterns of interpersonal emotion regulation and infants' expectations to parents

Graduate School of Education, The University of Tokyo, KOYAMA, Yuri

### 要 約

養育者は乳児に心を見いだしてしまいがちであり、そのような養育者の Mind-mindedness が後の心の理論獲得を予測することが明らかになっている。しかし、先行研究では子ども自身が自己の情動を理解し、調整する発達への寄与は問われてきていない。発達早期の子どもの情動調整としては、自己慰撫的な行動だけでなく、積極的に他者に要求を出すことで情動調整を求めることが行われるようになる。このような個人間情動調整において養育者の Mind-mindedness の果たす役割は当然大きく、また子どもに日常的に随伴的にかかわることで、子どもからの養育者への情動調整への期待を養うとも考えられる。そこで本研究では Still-Face パラダイムを用いることで、発達養育者の Mind-mindedness と早期の個人間での情動調整の様相との関連の検討および乳児の養育者への情動調整期待の関連の検討を行う。

【キー・ワード】 養育者の Mind-mindedness, Still-Face パラダイム, 個人間情動調整

### Abstract

Parents have proclivity to treat their young infants as psychological agents, and such tendency called parental mind-mindedness is found to predict later children's performance of theory of mind tasks. However, few previous studies examine relationships with children's development of understanding and regulating their own emotion. In first year of life, infants not only use self-soothing behavior to manage their negative emotion, but also actively make requests for parental support of emotion regulation. In this study, by conducting still-face paradigm, the relationships among parental mind-mindedness, interpersonal emotion regulation, and infants' expectations for emotion regulation by parents will be examined.

**【 Key words 】 Parental mind-mindedness, Still-Face paradigm, interpersonal emotion regulation**

## 問題・目的

私たち大人は、あたかも彼らが十分に社会的交渉の可能な存在としてみなしてしまう傾向がある。このような養育者の傾向は、子どもを社会的なやり取りに巻き込むことで、子どもの発達の最近接領域に働きかけ、子ども自身が自分や他者を、心を持った個人として理解する発達に寄与すると考えられてきた(e.g. Stern, 1989; Meins, 1997)。実際、養育者が乳児を心を持った一人の人として扱う傾向である Mind-mindedness(心を気にかけてしまう傾向; Meins, 1997)は、子どもの後の心の理論獲得をはじめとした他者の意図理解を予測することが明らかになっている (e.g. Meins *et al.*, 2003; Laranjo, Benier, Meins, & Carlson, 2010; Kirk *et al.*, 2015; Ereky-Stevens, 2008)。しかし、従来の研究は子どもの他者の信念の理解のみを養育者の Mind-mindedness の発達の帰結として焦点を当ててきており、子どもが自己の情動を理解し、調整するという発達への寄与については十分に問われてきているとは言い難い。

そこで本研究では、乳児に対する養育者のやりとりが中断される Still-Face パラダイムを用いることで、養育者の乳児の心への気かけが子ども・養育者の情動調整の有り方とどのように関連するか検討を行う。Still-Face パラダイム(以下 SFP を表記)は、養育者と子どもの対面のやりとりエピソード、やり取り中断エピソード、再統合エピソードから構成され、やり取りの中断は乳児にとってマイルドなストレスになるといわれている (Tronick *et al.*, 1977)。また、SFP 時の子どもの反応は乳児の養育者に対するやり取りへの期待を表しているといわれている(Ekas, Haltigan, & Messinger, 2013)。

Kopp(1989)によれば、低月齢児においては自らネガティブな情動に対して指しゃぶりなどの自己慰撫的な行動やストレスの原因から目をそらすことが情動焦点型の情動調整として用いられるようになるだけでなく、生後半年ごろには養育者に対してシグナルを出すことで他者からの情動調整を求めようになるといわれている。発達早期の情動調整は、養育者との間で行われる他律的なものであるといわれているが(金丸・無藤, 2004)、このような個人間情動調整においてその一端を担う養育者の持つ乳児の心をどのように気にかけるかという特徴は、情動調整の様相に深く関連し、養育者に対する乳児の情動調整への期待を日常から養っているのではないかと考えられる。

実際、近年では養育者の感性や子どもに関する表象が SFP 時の子どもの反応と関連することを示唆する研究がなされており (Braungart-Rieker *et al.*, 2014; Rosenblum *et al.*, 2002)、また SFP 時の子どもの反応と養育者の感性が後のアタッチメントの安定性や外在化問題と関連することが示されている(Braungart-Rieker *et al.*, 2014; Moore, Cohn, & Campbell, 2001)。そこで本研究では、月齢 6 か月時点での養育者の Mind-mindedness が SFP 時の養育者による乳児の情動調整行動にどのように関連するか、また、SFP 時の乳児の反応を検討することで、乳児からの養育者へのやり取りへの期待に Mind-mindedness がどのように関連しているか明らかにすること目的とする。

## 方 法

### 1. 調査参加者

月齢 6 か月の乳児及びその養育者 50 組を参加者とする。募集期間は 2017 年 11 月から 2018 年 4 月までとする。調査時期は 2018 年 1 月から 2018 年 9 月までとする。調査は随時行う予定である。家庭での観察と Still-Face パラダイムの実施を行う。

### 2. 調査項目

#### ① Mind-mindedness の測定

養育者の Mind-mindedness を親子自由遊び場面での養育者による乳児の内的状態への言及として操作的に定義し、Mind-mindedness を測定する (Meins *et al.*, 2001)。月齢にあったおもちゃを用意し、普段通り子どもと過ごしてほしいことを伝え、それ以外の指示は行わない。得られたデータは、Meins & Fernuough (2010) および申請者が修士論文において用いたコーディングシステムによって①「適切な言及(言及と乳児の行動が完全に一致するもの)」、②「豊富な言及(言及は乳児の行く動から読み取れる以上の心的状態を帰属しているもの)」、③「非調律的な言及(言及と行動が完全に不一致なもの)」、④「一般的な言及(具体的な内的状態への言及を含まない間など)」に分類する。

#### ② SFP による測定

SFP は 3 種類のエピソードから構成され、それぞれのエピソードは 2 分ずつである。第 1 エピソードにおいて養育者と乳児は対面での遊びを行う (High Chair Play エピソード 2 分)。その後養育者は後ろを向き、無表情で乳児とのやりとりを行わず、応答しない (Still-Face エピソード 2 分)。最後に、養育者は再度乳児とのやりとりにもどる (Reengagement エピソード 2 分)。乳児が 30 秒以上継続的に強い苦痛状態を示した場合、エピソードの時間を短縮し次のエピソードに移行する。

②-1. 子どもの情動状態の測定 SFP 時の子どもの情動状態の測定について、表情については Izard (1982) のコーディングシステムを用いて評定を行う。乳児の発声による情動状態の測定については、Braungart-Rieker *et al.* (1998) の発声のコーディングにもとづいて評定を行うこととする。

②-2. 子どもの情動調整の測定 SFP における子どもの情動調整行動を Ekas *et al.* (2013) にもとづいて評定する。以下の 4 行動にコーディングされる。「養育者を見る」「視線を逸らす (養育者の顔から視線をそらす)」「自己慰撫 (指しゃぶり、顔や体をさわる)」「強度の身体運動 (高速で足をける、椅子をたたく)」。

②-3. 養育者による SFP 再統合時の乳児の情動調整行動 SFP の再統合エピソードにおいて養育者が乳児の苦痛状態をどのように立て直そうとしているか検討を行う。これについては、観察場からボトムアップにコーディングシステムを生成し、検討を行うこととする。

## 進捗報告

現在参加者を募集中であり、随時調査を行っていく予定である。

## 引用文献

- Braungart-Rieker, J., Murphy Garwood, M., Powers, B. P., & Notaro, P. C. (1998). Infant affect and affect regulation during the still-face paradigm with mothers and fathers: The role of infant characteristics and parental sensitivity. *Developmental Psychology*, 34, 1428-1437.
- Braungart-Rieker, J., Zentall, S., Lickenbrock, D., Ekas, N., Oshio, T., & Planalp, E. (2014). Attachment in the making: Mother and father sensitivity and infants' responses during the still-face paradigm. *Journal of Experimental Child Psychology*, 125, 63-84.
- Ekas, N. V., Haltigan, J.D., & Messinger, D. S. (2013). The dynamic still-face effects: Do infants decrease bidding over time when parents are not responsive? *Developmental Psychology*, 49, 1027-1035.
- Eleky-Stevens, K. (2008). Association between mothers' sensitivity to their infants' internal states and children's later understanding of mind and emotion. *Infant and Child Development*, 17, 527-543.
- Izard, C. E. & Read, P. B. (1982). *Measuring emotions in infants and children: Based on seminars sponsored by the committee on social and affective development during childhood of the social science research council*. Cambridge [Cambridgeshire] ; New York: Cambridge University Press.
- 金丸 智・無藤 隆. (2004). 母子相互作用場面における 2 歳児の情動調整プロセスの個人差. *発達心理学研究*, 15, 183-194.
- Kirk, E., Pine, K., Wheatley, L., Howlett, N., Schulz, J., & Fletcher, B. C. (2015). A longitudinal investigation of relationship between maternal mind-mindedness and theory of mind. *British Journal of Developmental Psychology*, 33, 434-445.
- Kopp(1989). Regulation of distress and negative emotions: A developmental view. *Developmental Psychology*, 25, 243-254.
- Laranjo, J., Benier, A., Meins, E., & Carlson, S. M. (2010). Early manifestations of children's theory of mind: The roles of maternal mind-mindedness and infant security of attachment. *Infancy*, 15, 300-323.
- Meins, E. (1997). *Security of attachment and the social development of cognition*. East Sussex: Psychology Press.
- Meins, E., & Fernyhough, C. (2010). *Mind-mindedness coding manual, Version 2.0*. Unpublished manuscript. Durham University, Durham, UK.
- Meins, E., Fernyhough, C., Wainwright, R., Gupta, M. D., Fradley, E., & Tuckey, M. (2003). Pathway to understanding mind: Construct validity and predictive validity of maternal mind-mindedness. *Child Development*, 74, 1194-1211.
- Meins, E., Fernyugh, C., Fradley, E. & Turekey, M., (2001). Rethinking maternal sensitivity:

- Mothers' comments on infants' mental process predict security of attachment at 12months. *Journal of Child psychology and Psychiatry*, 42, 637-648.
- Moore, G. A., Cohn, J. F., & Campbell, S. B. (2001). Infant affective responses to mother's still face at 6 months differentially predict externalizing and internalizing behaviors at 18 months. *Developmental Psychology*, 37, 706-714.
- Rosenblum, K. L., McDonough, S., Muzik, M., Miller, A., & Sameroff, A. (2002). Maternal representations of the infant: Associations with infant response to the still face. *Child Development*, 73, 999-1015.
- Stern, D.N. (1989). 神庭靖子・神庭重信（訳）乳児の対人世界 理論編(The interpersonal world of the infant) 岩崎学術出版
- Tronick, E., Als, H., & Brazelton, T. B. (1977). The infant's capacity to regulate in face-to-face interaction. *Journal of Communication*, 27, 74-80.

